

尾ノ上の風 III

第13号

学ぶ きたえる 助け合う

文責：校長 村上 正祐



バラエティに富んだオンライン授業参観

今週はオンラインの授業参観でした。木曜日が特別支援学級・1・3・5年生、金曜日が2・4・6年生でした。実際の生の授業を見ていただくのが一番なのですが、感染症拡大防止のためにオンラインで行いました。

尾ノ上小学校では昨年度からのオンラインの取り組みがあり、担任の先生方も慣れて来られた先生も多く、せっかくなら保護者の方があまり見る機会の少ない授業を見せたいと考えられたようです。昨年度までは、教科も国語や社会、生活科などの発表会が多かったのですが、今回は学級毎にバラエティに富んでいました。

例えば、3年生では、社会、国語、算数、理科、4年生では、外国語、国語、算数、図工の鑑賞、5年生では、国語、外国語、6年生では、体育の跳び箱運動、国語、保健、学級会の話し合い活動といった具合で、私もこんなにバラエティに富んだ授業参観はあまり見た経験がなく、どの教室の子どもたちの様子を見ていて楽しかったです。皆様には、ぜひ今回の授業参観についてのアンケートに回答をお願いします。保護者の皆様からの声が子どもたちや担任にとって、一番のエネルギーになります。（安心メールで配信します）



跳び箱運動のオンライン参観

先生たちも学んでいます

子どもたちが主体的・対話的な学習を通して、自ら学びとっていく力をつけていくには、先生たち自身も体験して学びとる「学び手」にならなければ実現は難しいと思います。そのような考えで、尾ノ上小学校でも本年度、「先生たちが学ぶ校内研修」をテーマにして研修を行っています。

先週は、教育センターから先生をお招きしてこれからの時代に求められる教育やどのような取り組みをしていったら良いのかについて学びました。

今週29日(火)の校内研修では、龍田小学校の山下先生から、学びとる授業の実践例をたくさん紹介していただきました。

大学の先生とは違い、実際に現場で担任として多忙な毎日を過ごしながら新しい授業を作り出されている先生の実践はとても刺激的でした。講師の先生の熱意に応えるように、後半のミニワークショップでは、学びとる授業について各学年の先生方がチームになってアイデアを出し合い、発表してもらいました。短時間の話し合いでしたが、どの学年のチームもなかなかユニークなアイデアが出されました。子どもたちの学びを向上させるなら、まずは自分たちから・・・という姿勢で学んでいます。



熱心に話し合う3年部のチーム



お知らせ

○令和3年度の学校の電話の取次時間帯は、7時30分から18時までとします。それ以外の時間帯は留守番電話になります。ただ、職員の勤務終了時刻は16時45分です。出勤状況や学校の行事など日程の変更などによっては取次時間帯が変更になり、留守番電話になる時間帯も変わる場合があります。ご理解をお願いします。